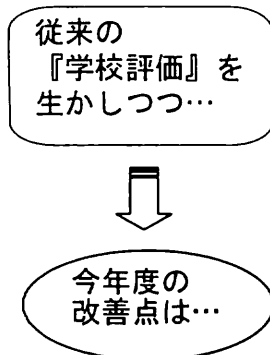


生徒や保護者、 そして地域の願いをかなえる学校づくり

札幌市立新琴似北中学校

I はじめに



1 本校における学校評価のねらい

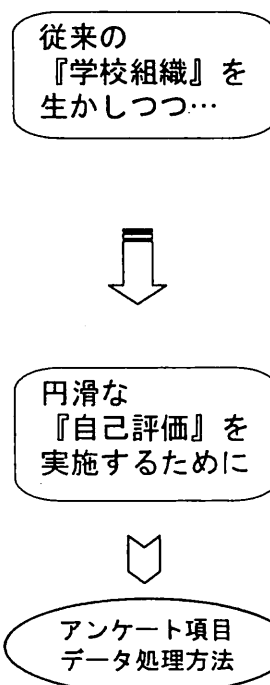
本校では、平成17年度より生徒と保護者（一部）及び教職員や学校評議員を対象とし、平成20年度からは全ての保護者を対象として学校評価を実施し、学校運営の改善を目指してきた。また、教職員を対象とした学校評価は、1学期末に中間評価を実施することにより、夏季休業中に改善策をまとめ、2学期以降に修正を加える方法、いわゆるPDCAサイクルも実施してきた。

2 昨年度の学校評価結果を基にした改善点

本校では、昨年度の学校評価を受けて以下の5項目を今年度の重点とし、各部や各学年で改善方法を立案・検討して結果を予測し、さらに検証と修正を加えながら取り組んだ。

- ① 学校教育目標の周知とねらいの明確化
- ② 生徒指導の一層の充実
- ③ 学力向上のための学習習慣の確立
- ④ 落ち着いた学習環境づくりに向けた読書活動の推進
- ⑤ 道徳授業の研究

II 本校の学校評価システム



1 自己評価の充実を図る組織体制

学校評価計画を立案・実施するに当たり、本校では新たに特別委員会は設置せず、教務部と教育課程検討委員会が中心となって推進した。教務係が作成した原案を教務部と委員会で修正を加え、職員会議に提案するという流れである。

自己評価(教師)は数年前より1学期末と年度末の2回実施し、自己評価(生徒・保護者)については年度末に実施してきた。ただしアンケート内容については、教師用が約80項目で、生徒・保護者は20項目であった。(内、教師用の20項目は生徒・保護者と共通)ここで課題となったのは、教師側が従来から実施してきたいわゆる「年度末反省」との関連性であり、学校評価との重複を避けつつ、いかに効率よく実りのある学校評価にするかということであった。

そこで今年度は従来の組織体制を生かしつつ、アンケートの内容や実施方法を工夫することに重点を置くこととして進めた。

2 学校関係者評価の円滑な実施に向けた取組

より円滑に学校評価を実施するために、今年度は「アンケート項目の見直し」と「データ処理方法の見直し」を中心に取り組んだ。

今までの自己評価(教師)は教育課程と学校運営が中心で項目も多く、生徒・保護者との視点も違っていた。そこで今年度より、生徒・保護者が評価しにくい項目でも削除せずに、不明な部分は無回答を許容することとし(無回答の要因を探ることも重要であるとの認識)、三者とも共通のアンケート項目を設定した。

アンケート処理については、学級や保護者の状況をより正確に把握して学級・学年経営に生かしてもらうために、各担任が集計することについても検討したが、事務処理の軽減化のためにマークシート処理とした。

Ⅲ 学校評価の一年間の流れ

月	自己評価				学校関係者評価
	学校(教職員)	児童生徒	保護者	地域	学校関係者評価委員会
4	(P) 学校経営方針・重点の確認 年間活動計画決定 学年・学級経営方針決定 学校評価実施計画作成 授業参観・学年PTA集会 生徒指導研修会 (D) 重点目標達成に向けた取組	学年集会 学力テスト 全国学力学習状況調査(3年生) 公開授業	学年集会参観 授業参観 学年保護者集会	学校だより配付・回覧	
		学校要覧・HP・マニフェスト(仮)等による資料提供			
5	学校評価の具体案作成 授業参観・学級PTA 校内研修会	公開授業 旅行行事結団式	授業参観 学級保護者集会 旅行行事結団式参観	学校だより配付・回覧	学校評価委員委嘱 第1回学校評価委員会(説明・体制決定)
6	学校評価アンケート内容提案 旅行行事報告会	旅行行事解団式	旅行行事解団式参観 旅行行事報告会	学校だより配付・回覧	
7	(C) 学校評価〈中間〉実施 学校評価〈中間〉集計 青少年健全育成会	三者懇談会 通知表配付 学年集会	三者懇談会 通知表配付 学年集会参観	学校だより配付・回覧	青少年健全育成会 青少年健全育成会
8	(A) 改善策の立案・実施 学級・学年経営案の修正	中間評価(アンケート)の実施 (授業評価も実施予定)		学校だより配付・回覧	第2回学校評価委員会(学校関係者評価の討議)
9		体育大会	体育大会参観	学校だより配付・回覧	
10	校内研修会 教育相談	学校祭 教育相談 通知表配付	学校祭参観 通知表配付	学校祭参観 学校だより配付・回覧	
11	生徒指導研修会 教育相談	合唱交流会 合唱祭 教育相談	合唱交流会参観 合唱祭参観	合唱交流会参観 学校だより配付・回覧	
12	(C) 学校評価〈年間〉実施 学校評価〈年間〉集計	学校評価実施 三者懇談会 通知表配付 学年集会	学校評価実施 三者懇談会 通知表配付 学年集会参観	学校だより配付・回覧	
1	学校評価分析・自己評価	年間学校評価の実施		学校だより配付・回覧	
2	学校評価分析・自己評価 学校評価職員会議 (P) 今年度の重点の反省 次年度の重点の立案 校内研修会 生徒指導研修会 授業参観・学年PTA集会 学校評価結果の公表(保護者集会)	公開授業	授業参観 学年保護者集会	学校だより配付・回覧	
3	教育課程研修会 学校評価結果の公表(HP・資料配付)	通知表配付	通知表配付	学校だより配付・回覧	第3回学校評価委員会(学校関係者評価の討議)
		次年度資料の準備			

IV 学校評価の方法

1 自己評価

(1) 項目の設定

今年度については学校運営全体が分かるよう、5つの大項目と9つの小項目とし、アンケートの質問は全38項目とした。

大項目	小項目
1 分かる授業	1 教育課程の状況
	2 各教科の指導状況
2 楽しい学校	3 生徒指導・進路指導の状況
	4 特別支援の状況
	5 安全管理・保健管理の状況
3 学校運営全般	6 学校組織運営の状況
	7 教職員の意欲・資質向上への取り組み
4 情報発信	8 情報公開
5 家庭・地域・学校の連携	9 生徒・保護者・地域との状況

学校運営全体を項目とし見ることは、総花的視点となり、評価内容の焦点が曖昧になってしまい、学校改善の妨げとなりうるというリスクもあるが、①現状を把握する。(改善点を知る) ②優先順位をつけるために、あえて38項目のアンケートを実施した。

(2) 効果的な外部アンケート等の実施

アンケート項目や内容の設定に当たり、以下の点に留意した。

- ① 回答を4段階にするか5段階にするか
 - ・5段階とした場合には平均値の3を選ぶケースが多くなると考えられるので、少しでも正確なデータ取りが出来るであろうと考え、4段階とした。
- ② 無回答(生徒・保護者に見えない部分)の項目
 - ・学校運営全体を網羅した場合に、特に運営面で生徒・保護者に見えない部分もあり、その評価をどのように扱うのが課題となった。
 - ・無回答を許容することによって、生徒・保護者に見えない部分を教師側が把握することを優先することにした。
- ③ アンケートの表現方法(生徒・保護者が理解できる表現)
 - ・教師が日常的に使い慣れた表現でも、生徒・保護者がわかりにくいと思われる表現はなるべく使用しないようにした。

(3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

データ処理にマークシート方式を採択したこととその理由については前述の通りである。マークシート方式の利点はその処理スピードにあり、従来学級担任や集計担当者が抱えていた負担を大きく軽減することに成功した。また、今回利用したシステムはMSエクセルとリンクしており、データが自動的にグラフ化されるものでもあったため、表やグラフを作成する時間も節約できた。

反面、学級別・学年別・全校等の①目的に合った集計をしないと、データや分析結果が膨大な資料としてプリントアウトされることに留意しなければならない。次のステップとして、②要因の正確な把握と③担当者の決定(中心となって改善に取り組むメンバー)が必要である。②と③は順番が逆になってもかまわないが、なぜこのような結果が出たのかを正確に把握しなければならない。その結果が妥当なものであるのか、改善が必要なのかを判断するのである。

そして、改善していく④優先順位を確定し、各担当部署がそれぞれの改善に取りかかった。

自己評価書は2通り作成した。一つは学校評価データにグラフを添付して公表したもの。もう一つは、項目別にその要因と改善策を掲載したものである。

(4) 改善策の検討

改善策を検討するに当たり留意したことは、①評価が低い評価項目の洗い出しとその要因の究明する、②改善策の検討と改善計画の立案(短期・長期の仕分

ねらいに合った
項目の設定



まず
学校運営全体

実態把握

・目的に合った集計
・要因の正確な把握

担当と優先順位

・中心メンバー
・『何から』は始める?



次年度の課題

・長期的課題
・短期的課題

わかりやすい
アンケート



わかりやすい
集計結果



わかりやすい
重点目標

学校評価委員会
組織と評価活動

け)をすることの2点である。その際には、下の a・b を最優先にした。

a 長期的な計画で改善していくのか短期間で改善が見込めるのか判断する。また、長期計画の場合は数段階に到達目標を定めて、最低年2回(中間・年末)の評価・修正を加える。

b 生徒・保護者・学校の三者が分かりやすい到達目標(重点目標)を設定する。

2 学校関係者評価－学校関係者評価委員の構成と役割

本校の今年度の学校関係者評価の評価者は、学校評議員のみの構成である。本校の学校評議員は現在3名で、年に数回学校を訪問いただいて評議員の立場からの評価をお願いしているが、自己評価の結果をもとに学校運営全体を評価してもらうためには課題も多い。さらに、青少年健全育成会の組織を活用しながら、地域からも評価者を選出し、今後は人数を増やしたり、訪問時期・時間の割当てをしたりするなどして教育活動全体を評価できるようにしなければならない。

V 評価結果の公表

プリント
ホームページ
説明会

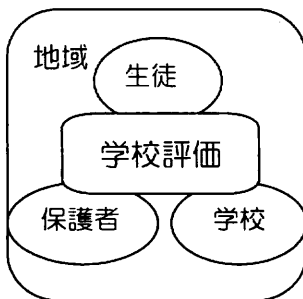
1 公表の方法

生徒・保護者及び地域には、評価の数値とグラフでまとめたものを配付・回覧するとともに、入学説明会や2月下旬のPTA保護者集会でも説明した。また、学校だよりもダイジェストを掲載し、学校ホームページにも掲載した。なお、新入学生徒を対象に校区の小学校で実施するオリエンテーションでも説明する予定である。

2 公表の効果

今回は公表の時期が遅かったことと、初めての公表でPR不足もあり、余り多くの反響はよせられていないが、① 保護者や地域の方々が、学校運営への関心をより強めてくれたこと、② 保護者はもちろんのこと、地域の方々も子どもの成長や学校の様々な取組を温かく見守って下さっていること等が再確認された。

VI 成果と課題



1 成果

最大の成果は、昨年までとは違う新しい方法で「自己評価結果を基に評価することによって『本校の課題』がこれまで以上に明白になり、生徒・保護者・学校が『本校の課題』を共有できるようになったことである。その結果、三者が同じ目的意識をもって改善に取り組むことが可能となり、より大きな成果が期待できると確信している。

評価項目を焦点化して三者が同じ視点で評価したその内容は、学校の重点からはじまり、各部・各学年・各教科、そして特活・道徳・総合的な学習の時間まで及んでおり、それぞれの立場の教職員がそれぞれの立場で目標達成へ向けた取組がしやすくなった。そして自己評価結果を基に作成された「学校関係者評価書」は、学校評議員によって組織された学校評価委員会で検討され、その助言が次年度の計画立案に大きく生かされることとなった。

さらに、生徒や保護者からの「学校が見えない」という批判にきちんと向き合うために(仮称)「北中のマニフェスト」も作成予定にあることを付け加えておく。また、7月の「中間評価」では生徒・保護者による「授業評価」を実施することにより、授業の改善や工夫がさらに深まり、今年度から取り組んだ「毎日の家庭学習プリント」と「休み明けコンテスト」とが相乗効果を生み、最大の到達目標である「学習習慣の定着」と「学力の向上」へと徐々にではあるが近づいている。

2 課題

本校の課題の一つは「学校関係者評価委員会」の運営である。学校評議員による学校関係者評価の取組を充実させるとともに、より多くの人に様々な視点で評価していただき、今後の学校づくりに生かしていかなければならない。二つ目の課題は、「教師の研修意欲および資質の向上」である。「学校評価」によって見えてきた課題をどのように改善していくのか、学力向上のためにどのように「わかる授業・楽しい授業」をしていくのか。それらを教員全員で論議し検討しながら進めていくこと。これが平成24年度からはじまる新しい教育課程実施に向け、必要不可欠な次年度の課題である。

北中マニフェスト
研修意欲資質向上

札幌市立新琴似北中学校 平成21年度 学校評価 解答用紙 (設問は別紙参照のこと)

左の欄に学年・クラスを記入し、数字を塗りつぶして下さい。							学 年	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	よくあてはまる ④ あてはまる ③ あまりあてはまらない ② ほとんどあてはまらない ①
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	ク ラ ス										
生徒	保護者	教職員	地域の方	評議員			番 号										

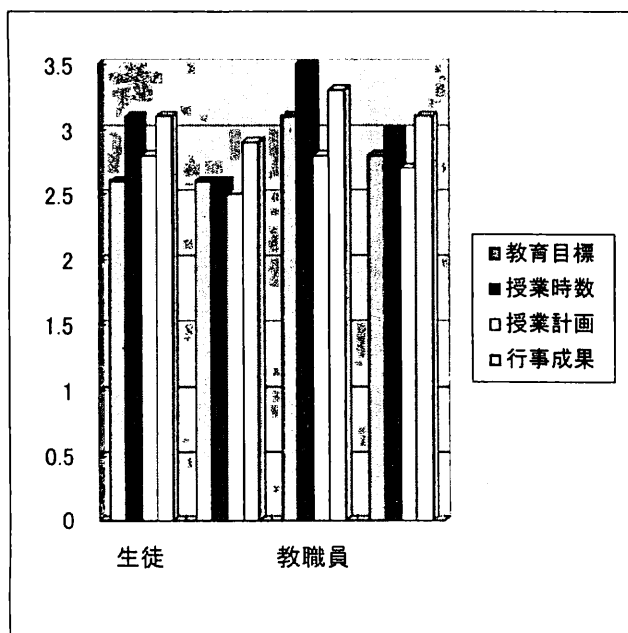
学校目標に沿った教育活動が行われていると思いますか。	① ② ③ ④
各教科(道德・特活・総合的な学習の時間を含む)授業時数は確保されていると思いますか。	① ② ③ ④
授業の進め方は計画的で、適切だと思いますか。	① ② ③ ④
目的を持った学校・学年行事が展開され、また、成果を上げていると思いますか。	① ② ③ ④
授業での説明・板書はわかりやすいと思いますか。質問などは適切だと思いますか。	① ② ③ ④
各学年ごとの体験活動の内容、学校行事の回数や内容は適切だと思いますか。	① ② ③ ④
学校図書館の利用や、毎朝の読書活動の推進に取り組んでいると思いますか。	① ② ③ ④
視聴覚機材や教育機器などが効果的に使用されていると思いますか。	① ② ③ ④
インターネットや情報通信ネットが、効果的に授業に取り入れられていると思いますか。	① ② ③ ④
家庭学習課題の実施や授業で、学習習慣が定着する指導が推進されていると思いますか。	① ② ③ ④
『豊かな人間性・しなやかな感性・良好な人間関係の構築』を目指す指導が推進されていると思いますか。	① ② ③ ④
命の大切さや環境保全について、十分な学習が行われていると思いますか。	① ② ③ ④
教職員全体で生徒指導(相談活動)・進路指導に取り組んでいると思いますか。	① ② ③ ④
社会の一員としての規範意識向上のための指導は十分に行われていると思いますか。	① ② ③ ④
主体的に進路を選択する能力・態度の育成が指導されていると思いますか。	① ② ③ ④
家庭からの連絡を受けるときや欠席・遅刻したときの、教職員の対応は適切だと思いますか。	① ② ③ ④
生徒指導に関わる問題が発生したときの、教職員の対応や指導は適切だと思いますか。	① ② ③ ④
本校の部活動は適切に実施されていると思いますか。	① ② ③ ④
配慮を要する生徒や特別支援学級の生徒に対する体制が整備されていると思いますか。	① ② ③ ④
配慮を要する生徒や特別支援学級の生徒に対する配慮ある指導が行われていると思いますか。	① ② ③ ④
生徒の安全対策や健康管理の体制が適切にできていますか。	① ② ③ ④
自己健康管理能力向上の取組や、健康診断が適切に実施されていると思いますか。	① ② ③ ④
不審者対策のマニュアルが整備され、情報伝達が適切に行われていると思いますか。	① ② ③ ④
学校事故等の緊急事態発生時の対応はできていると思いますか。	① ② ③ ④
学校生活の安全に対する指導が適切に行われていると思いますか。	① ② ③ ④
役割を持った教師の活動が適切に行われていると思いますか。	① ② ③ ④
各種文書や個人情報の管理が適切になされていると思いますか。	① ② ③ ④
学校徴収金等の管理、会計報告は適切に行われていると思いますか。	① ② ③ ④
教師の研修内容が生徒や保護者に伝わるような場面があると思いますか。	① ② ③ ④
新琴似北中学校の年間の校内研修実施時期や回数は適切だと思いますか。	① ② ③ ④
教職員の意欲や資質向上への意欲があると感じますか。	① ② ③ ④
保護者を対象とした文書等、情報の伝達・公開は適切だと思いますか。	① ② ③ ④

※以下省略

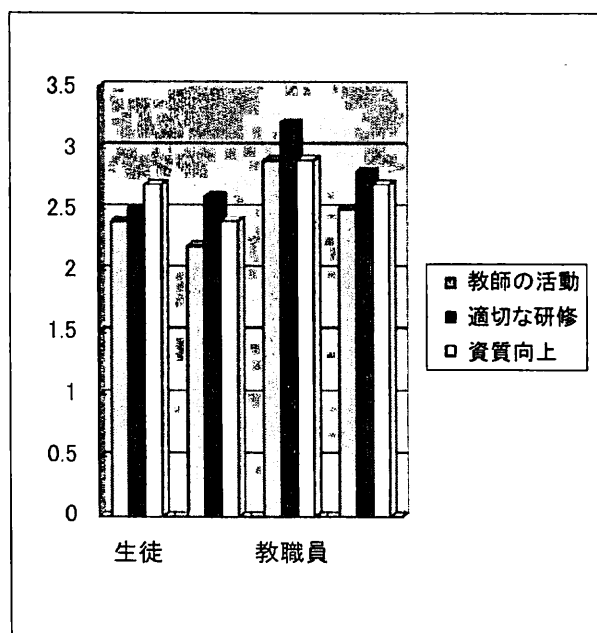
資料2 集計結果のデータ・グラフ(一部抜粋)

大項目	小項目	N O	質問	生徒	保護者	教職員	平均	総合 平均	総合 評価
1 わかる授業	教育課程の状況	1	学校目標の『明るい未来を創造し 豊かな社会の展開に寄与するため』 ●自ら知識を求め、学ぶ態度を育てる。●自ら個性を伸ばし、豊かな心情を育てる。●自らたくましい心とからだを育てる。に沿った教育活動が行われていると思いますか。	2.6	2.6	3.1	2.8	2.9	B
		2	各教科(道徳・特活・総合的な学習の時間を含む)授業時数は確保されていると思いますか。	3.1	2.6	3.5	3.0		
		3	授業の進め方は計画的で、適切だと思いますか。	2.8	2.5	2.8	2.7		
		4	目的を持った学校・学年行事が展開され、また、成果を上げていると思いますか。	3.1	2.9	3.3	3.1		

大項目	小項目	N O	質問	生徒	保護者	教職員	平均	総合 平均	総合 評価
3 学校運営全般	教職員の意欲・資質向上への取組	29	行事や授業を含む日常活動の中で、役割を持った教師の活動が適切に行われていると思いますか。	2.4	2.2	2.9	2.5	2.6	B
		30	新琴似北中学校の年間の校内研修実施時期や回数は適切だと思いますか。	2.5	2.6	3.2	2.8		
		31	行事や授業を含む日常活動を通して、教職員の意欲や資質向上への意欲があると感じますか。	2.7	2.4	2.9	2.7		



1わかる授業



3学校運営全般